

## 【学校規模適正化ブロック協議会を開催】

西部地区にある小中学校の規模適正化方策や就学環境について考えていく「学校規模適正化育親中学校ブロック協議会」が設置され、会議が開催されました。

西部地区にある各学校とも共通して 児童生徒が増える見込みがなく、既に畑野小学校では複式学級も始まっています。

特に、小学校児童期は、成長過程の中で多様な集団活動を経験するときにあって、集団の中での学びや体験が必要とされていますが、少人数の現環境下では限界があって、適正な教育環境にあるとは捉えにくい状況にあります。

我がまちの将来を担ってくれる児童生徒たちが、学校での様々な活動を通して健やかに成長していくための学習環境・学校づくりは喫緊の課題であり、我々大人たちの責任でもあるとの考えから、西部地区4町自治会長連名で、学校環境の改善の要望を、亀岡市長及び亀岡市教育委員会教育長に行ないました。

それを受けて、ブロック協議会が設置・開催されたものですが、本協議会は、西部地区自治会長、各校のPTA 会長及び学校長、地元市議会議員に教育委員会職員を加えた 15 名で構成。

今回の会議では、小規模学校における教育上・学校運営上の課題を再確認して、現在の児童生徒数が減少する状態をそのままにしておくことはよろしくないとの考えで一致し、今後 具体方策を教育委員会から提案願うこととしました。

教育委員会から提案された方策に対して、協議会が中心になって協議・検討を進めていくわけですが、その過程で広く保護者や住民の皆さんの意見を聞く場も設けられていくこととなります。

本年 1 月に中央教育審議会が示している『令和の日本型学校教育＝9 年間を見通した新時代の義務教育のありかた』を先取りした新たな学園づくりが、私たちの西部地区から始まっていきます。

町民の皆さんにも、協議・検討の状況をお伝えしていきますので、皆さんも一緒に考え、意見をいただきますようお願いいたします。